

家庭科学習指導案

6年3組 29名 指導者 岡元照代
 栄養教諭 尾川敬子

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 学習したこと家庭生活で生かすための手立てとして、言語活動の取組や栄養教諭とのチームティーチングは効果的であったか。

1 題材 計画的に生活しよう「金銭や物の使い方を考えよう」

2 目標

物や金銭の使い方に関心を持ち、金銭や身の回りにある物の使い方を見直し、計画的に生活することの大切さが分かる。

3 題材の評価規準

- 自分の生活との関わりから、物や金銭の使い方に関心を持ち、意欲的に調べようとする。
【家庭への関心・意欲・態度】
- 自分の生活との関わりから、物や金銭の使い方を考えたり、自分なりに工夫したりする。
【生活の創意工夫】
- 身の回りの物を有効に活用することができる。
【生活の技能】
- 物を適切に購入したり、大切に使用したりすることが環境への配慮につながる事が分かる。
【生活についての知識・理解】

4 題材について

(1) 題材の価値

子どもたちは、これまでに野菜サラダやご飯とみそ汁作りなどの調理実習を通して、食材を準備したり、必要に応じて購入したりする活動を行っている。

ここでは、金銭や物の使い方に関心を持ち、金銭や身の回りにある物の使い方を見直し、計画的に生活することの大切さが分かるようになることをねらいとしている。

この題材を通して、自分の家庭生活を見直し、賢い消費者としての視点を持ち、家庭や学校生活の中で実践することで、実生活に活用できる喜びを味わうことができると考える。このことは、今後、子どもたちが健全な生活を営んでいくための消費生活の基礎を培う上で意義深いものである。




(2) 子どもの実態と指導

本学級の子どもの家庭科学習の関心は高い。特に調理実習や被服製作などの製作活動への関心は高く、友達と協力して野菜サラダやみそ汁を作ったり、針と糸を使って小物を作ったりする活動に意欲的に取り組んでいる。しかし、物や金銭の使い方については、日頃から意識して生活している子どもは少なく、関心が高いとは言えない。毎日の食材の買い物の仕方については、家族と一緒に買い物に出かけても、家族のそばについて買い物をする子どもは約2割しかいない。家庭で調理などの活動を行う際も、家族が買ってきた食材を使って調理する子どもが多く、目的に応じた計画的な買い物を実践している子どもはほとんどいない。

そこで、本題材では物や金銭と使い方への関心を高め、生活の中で実践する喜びを味わうことができるようにするために、毎日の生活にかかわりの深い活動を積極的に取り入れた。学校給食の食材購入の工夫などを栄養教諭にアドバイスしてもらいながら、買い物の仕方を自分の言葉で書いたり説明したりする活動を通して、家庭生活に生かしていこうとする意識を高めたい。さらに、目的をもった計画的な買い物が日常的にできるようにし、社会の中での消費者としての意識を高めていけるような場の設定を工夫したい。

5 指導計画 (総時数5時間)

指導にあたって

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
つかむ・見通す	<p>1 日常生活での金銭や物の使い方について振り返り、気付いたことを話し合う。 【関：物や金銭の使い方に関心を持ち、進んで調べようとする。】</p> <p>毎日の生活を振り返り、物や金銭の使い方に着目することができるようにする。</p> 	1
調べる・確かめる	<p>2 金銭を有効に使うためには、どうしたらよいかを話し合う。</p> <p>3 買い物の仕方について話し合い、目的に合った物の選び方を考える。 (栄養教諭とのチームティーチング) 【知：目的に合った品物の選び方や適切な購入の仕方が分かる。】</p> <p>栄養教諭に食材の選び方等についてのアドバイスをもらいながら目的に合った買い物ができるようにする。</p> 	1 1 (本時)
生活に生かす	<p>4 学用品などを例に、買った物の使い方を見直す。 【技：身の回りの物を有効に活用することができる。】</p> <p>5 身の回りの物の有効な使い方を考えたり工夫したりする。 【知：物を大切にしたら暮らし方や目的に合った物の選び方、適切な購入の仕方が環境に対する配慮につながっていることが分かる。】</p> <p>6 これまでの実践や生活を振り返り、これからの生活に生かしたいことについて話し合う。 【創：物の計画的で有効な使い方について、自分なりに工夫している。】</p> <p>計画を立てて、生活の中に生かすことの大切さを考えることができるようにする。</p> 	1 1

6 本 時 (3/5)

(1) 目 標

目的に合った買い物の仕方を考えることができるようにする。

(2) 評価規準

目的に合った買い物の仕方について考えることができる。

【生活の創意工夫】

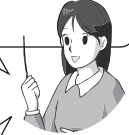


(3) 指導にあたって

本時では、学習したことが家庭生活で実践することができるようにするために、栄養教諭による賢い消費者としての視点をもとに、目的に合った買い物の仕方を考える活動を行う。

まず、事前に家庭の買い物の仕方を調べ、消費生活への関心と学習への意欲付けを図りたい。

次に、「家族のための朝食のおかずを作ろう」という共通課題のもとに、必要な食材の購入方法を考え、どのような視点で買い物をすればよいか考えながら、買い物計画表を作成する。その際、食材の購入の際に、どんなことに気を付けているかなどを栄養教諭にアドバイスしてもらいながら、品質や価格、量などを考慮した目的に合った買い物の仕方を考えることができるようにする。

実際に買い物の疑似体験の場を設定し、買い物の場面を具体的にイメージしやすい環境を作る。また、買い物計画で見直したことを自分の言葉で説明する活動を行う。さらに、「朝食に合うおかずを作ろう」の題材学習後に実践発表会を行い、何の目的でどの食材をどのような方法で購入したかなどを発表し合う活動を通して、学んだことが実生活で活用できる喜びを味わわせ、家庭生活に生かしていこうとする意欲を高めることができるようにしたい。

時	過程	主な学習活動と教師の手だて・評価	
7	つかむ	<p>1 日頃の食材の買い物の仕方について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・値段の安い物を買うことが多いな。 ・「国産」と書いてある物をよく買っているよ。 ・何件かのお店を見て回るよ。 ・買いすぎて、腐らせることもあるな。 	<p>事前に「我が家の買い物調査」を行い、家庭の買い物の視点などを把握させておく。</p> <p>「家族のために作る朝食のおかず」を考え、「買い物計画表」に購入方法など書いておく。</p> 
		<p>2 本時のめあてをつかむ。</p> <p>「家族のための朝食のおかず」の食材の買い方を考えよう。</p>	<p>代表児童が実際の買い物の場面の劇を演じ、品質や価格、情報の入手方法など食材を買うときに大切なことを具体的に考えることができるようにする。</p> 
30	調べる	<p>3 「買い物劇」から、食材の計画的な買い方を考える。</p> <p>【品質がよく高価な食材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高くて予算オーバーだけど、質のよいものを使おう。 <p>【安価な食材】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味はそれほど変わらないだろう。少しでも安い方がいいな。 <p>【必要以上に大量な食材】</p> <ul style="list-style-type: none"> 〔・お買い得だから、たくさん買ってあげばいいぞ。〕 	<p>家庭環境の違いや人によって買い方の優先順位が異なることなどにも配慮し、自分に合った買い方について考え、自分の言葉で説明できるようにする。</p>
		<p>4 栄養教諭の話聞いて、買い物計画を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの情報から、必要な物や量を選ぶこと。 ・野菜は、新鮮で栄養価の高いものが多い。 ・食材をむだに使わないように、全部有効に使うこと。 	<p>※ 目的に合った買い物の仕方について考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 考えることができた子どもには、別なおかずについての買い方を考えるよう助言する。 ○ 活動が進まない子どもには、実際の食材を見ながら、それをもとに考えるよう助言する。
8	生活に生かす	<p>5 買い物計画で見直したことを説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャベツを今が旬のほうれん草に変えよう。 ・残った食材で、おかずをもう一品作ってみよう。 	
		<p>6 学習のまとめをする。</p> <p>食材を買う場合は、よく調べて品質のよいものを適切な価格で買い、むだなく使うことが大切だ。</p>	<p>学校給食の食材を例に出し、品質がよく、安全な食材を予算内に計画的に購入する方法について話し、家庭生活にも活用できることに気付くことができるようにする。(栄養教諭)</p> 
		<p>7 本時の学習を振り返り、実践への意欲をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今度は、品物をよく見て買い物をしよう。 ・休日の食事作りは、食材の買い物から自分でやってみよう。 	<p>学習したことを活用して、賢い買い物の仕方を考えることができたことを賞賛し、実生活での意欲を高めることができるようにする。</p> 